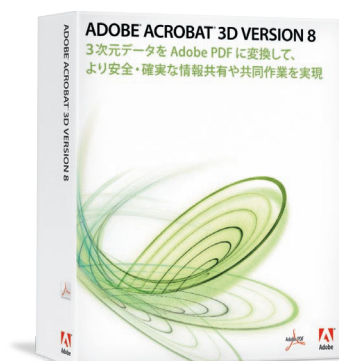


ADOBE® ACROBAT® 3D VERSION 8

3次元データをAdobe PDFに変換して、より安全・確実な
情報共有や共同作業を実現



製品概要

Adobe Acrobat 3D Version 8を使用すれば、CADファイルをコンパクトなAdobe PDFファイルに変換し、3DベースのコラボレーションやCADデータの相互運用を行えます。無償のAdobe Reader®*を使用する広範な関係者との間で、正確な形状データや製品製造情報を含むPDFファイルを共有できるので、効率的な3Dデザインのレビューや設計情報のやり取りが実現します。

3Dベースのレビューにより設計プロセスを加速

動きのない2Dのスクリーンショットに代わってインタラクティブな3Dモデルをベースにした設計コラボレーションを展開

CATIA V4およびV5、UGS NX、I-DEAS、SolidWorks、Pro/ENGINEER、Autodesk InventorといったCADアプリケーションで作成した3DデザインをAdobe PDF文書にすばやく変換。顧客や仕入先、プロジェクトチームなど関係者全員で設計についてのレビューやマークアップ、注釈を簡単に行えるので、CAD担当者の設計コンセプトを明確に関係者へ伝えることができます。

簡単に共有できるコンパクトなAdobe PDFファイルを作成

コンパクトで誰もが利用できるAdobe PDFファイルを簡単に作成できます。オリジナルのCADファイルのファイルサイズを小さくすることも可能です。

OpenGL対応アプリケーションからAdobe PDF文書を簡単に作成

Microsoft® Windows®およびUNIX®システム上のあらゆるOpenGLベースのアプリケーションから、ワンクリックでAdobe PDFファイルにCADファイルを取り込みます。

PMI+を共有することにより、2D図面の必要性を低減

3DモデルとともにCADデータからの製品製造情報 (PMI) をPDFに取り込んで、広範な製造チームやサプライチェーンに配布することが可能。PMIはPDF内のアセンブリツリー構造やジオメトリ構造に直接表示されるので、3D情報をあらゆる角度から確認できます。これにより、2D図面による詳細説明や共有の必然性が低減されます。

誰とでも3Dモデルを共有

無償のAdobe Reader®* ユーザーに3Dモデルの表示、操作、分析、マークアップ、注釈コメントを行う権限を付与すれば、高価なCADツールや専用ビューワがなくても、効率良くレビューを実施できます。

Adobe Reader®で注釈・コメントの付与が可能に

Adobe PDFに権限を付与することで、無償のAdobe ReaderでもAcrobatと同様の注釈ツールが使用できるようになり、プロジェクトメンバー全員が電子メールまたはWebベースのレビューに参加することが可能。プロジェクト関係者は、注釈ツールを使用して、3Dオブジェクトにマークアップや引き出し線を加えたり、回転、ズームインしたり、様々な角度から閲覧することができます。さらに、3Dモデル内のすべてのパーツの寸法を測定することも、新規で設定した3Dビューを保存することもできます。

情報の伝達ミスを低減

注釈を添えた3Dモデルの断面図をインタラクティブに表示することで、設計コンセプトを明確に伝えることができます。また、設計の詳細をより理解できるよう、パーツの表示/非表示を切り替えたり、ハイライトやマークアップツールなどを使用して、特に注目してほしいパーツや組み立て部品を際立たせることが可能です。

設計ミスをより早期に発見

インタラクティブな3Dファイルを早い段階から繰り返し広範なプロジェクト関係者間でやり取りできるので、製造段階に入る前に設計ミスを発見することが可能。設計変更や製造の遅れを防げます。

重要なプロジェクト文書を簡単に共有

スプレッドシートやMicrosoft Officeドキュメント、電子メール、2D CAD図面など、複数のソースファイルを束ねて1つのAdobe PDF文書を作成できます。業界標準のPDFフォーマットをベースに、CADデータを顧客や取引先に伝達すれば、より安全確実に電子情報をやり取りできます。

レビューのトラッキングと管理を効率化

レビュー担当者リストを作成し、それぞれのフィードバックを自動的にトラッキングできます。レビュー進行中に電子メールを送付したり、新しい参加者を追加することも可能です。また、複数のレビュー担当者が記入した注釈を、1つの Adobe PDFドキュメントに簡単に取りまとめることができます。

Acrobat 8 Professionalの全機能を搭載

Acrobat Professionalの優れた機能を活用すれば、ビジネスプロフェッショナルは、Adobe PDF文書をすばやく簡単に作成、統合、制御し、安全かつ効率的な文書の配布とコラボレーション、データの収集が行えます。

コストを抑えながらCADデータの相互運用性を向上

CADデータをPDFファイルでサプライヤに送付

コンパクトで安全性が高く、誰もが利用できるAdobe PDFファイルで、正確なCADデータとPMI[†]をパートナー企業に伝達。2D図面がなくてもモデルの詳細情報を閲覧でき、無駄な図面の作成や共有の必要性が低減されます。

サプライヤへのCADデータの伝達プロセスを最適化

OEMメーカーは、Acrobat 3Dを使用して、正確な形状データやPMI[†]を含む3D CADファイル、Microsoft Office文書など、複数のソースファイルを束ねて1つの安全な Adobe PDF文書を作成し、CADパーツの設計情報を簡単に取引先・関係者に伝達することができます。取引先や関係者は、Acrobat 3Dを使用してCADデータを表示し、3Dモデル上に直接指定された重要なPMIを確認。3D CADデータを標準ファイルフォーマットに書き出し、CAD、CAM、およびCAEアプリケーションで再利用できます。

高価な CAD ツールへの投資を削減

サプライヤは、取り扱うCADフォーマットごとに高価なCADツールを購入する必要がなくなり、経費の節約につながります。Acrobat 3Dがあれば、多種多様なCADファイルをSTEPやIGESなどの標準3Dファイルフォーマットに変換し、CAD、CAM、およびCAEアプリケーションで使用できます。

ネイティブCADファイルを高速変換

Acrobat 3Dなら、従来よりもすばやくネイティブCADファイルをAdobe PDFに変換できます。事前と事後の処理にも時間がかかりません。

より信頼性の高いCADデータに変換

CADファイルをより信頼性が高く予測可能なSTEPファイルに変換し、CAD、CAM、およびCAEアプリケーションで使用することが可能。Acrobat 3Dを使用すれば、一貫性を保持しながら、CADフォーマットをSTEPやIGESなどの高品質な標準ファイルに変換できます。これにより、変換後のデータと複数の異なるソースからのSTEPやIGESの出力との比較に時間を取られることがなくなります。

ビジネスを拡大

顧客が作成したデータを読み取れないという事情でビジネスチャンスを逃したり、不要なデータや不正確なデータの変換に時間を取られたりすることは、もうありません。Acrobat 3Dを使用すれば、取引先や関係者は、あらゆるCADフォーマットのプレビューや分析を行えるだけでなく、STEPやIGESデータに書き出して、再びCAD、CAM、CAEなどのアプリケーションで検証を行うこともできます。また、プロジェクトが本格化し、多くの時間を費やす前に、第一段階の設計データをAcrobat 3Dでプレビューし、不明点を明らかにしておくことができます。

3D資産を再活用し、表現力豊かなドキュメントを作成

CADデザインをマーケティング資料やテクニカルマニュアルに活用

付属のAcrobat 3D Toolkitを使用すれば、3Dモデルの簡単な編集が可能です。アニメーションの付加、カラーやテキストの変更、ポリゴン数の調整などを行い、また、3Dモデルを2Dラスター画像またはベクトルグラフィックとして保存することができるので、高価なCADツールを必要とせず、リッチでインタラクティブなマーケティング資料やテクニカルマニュアルを作成できます。

Microsoft Office文書から3Dモデルを含むPDFファイルを簡単に作成

Acrobat 3Dに搭載されたOLEコントロール拡張機能(OCX)を使用すれば、WordやPowerPointといった既存のMicrosoft Office文書内に3Dモデルを取り込み、Adobe PDFに変換して、簡単に配布することができます。

よりリッチなユーザ体験を実現

ビジュアルリッチでインタラクティブなコンテンツを文書に取り入れることで、複雑な設計コンセプトを効果的に伝達することができます。組立・分解方法などを示すアニメーションを作成すれば、言葉の壁を超えて、製品の機能を明確に説明できます。無償のAcrobat Reader*があれば、こうした情報すべてを利用することが可能です。

機密情報の保護とコントロール

ネイティブCADファイルのコントロールを維持

Adobe PDFで3Dデザインデータをプロジェクト関係者と共有すれば、ネイティブのCADファイルをやり取りする必要はありません。レビュー担当者がネイティブCADデザインに誤って変更を加えてしまうこともありません。

パスワードの適用と使用権限の割り当て

128ビット暗号化により、Adobe PDF文書へのアクセスをきめ細かく制限できます。パスワードを持たない人がファイルを開けないよう設定することができます。

電子署名のサポート

Adobe PDF文書に電子署名を適用することで、信頼性の証明、ファイルステータスの管理、改ざんの防止が可能です。

Adobe Reader*でも電子署名の付与が可能に

無償のAdobe Readerユーザでも電子署名機能を使用できるよう、Adobe PDF文書に権限を付与できます。

個々のファイルのセキュリティ設定を保持

個々にセキュリティや電子署名が設定された複数のAdobe PDFファイルを、それぞれの設定を保持したままパッケージとして1つに束ねることができます。

文書上の機密情報部分だけを完全に削除

新しい墨消しツールを使用すれば、機密性の高いテキストやオブジェクト部分を塗りつぶし、かつ検索が行えないようその内容を文書上から完全に削除します。

* Adobe Reader 8.1 以降が必要です。

† 製品製造情報 (PMI) は、幾何公差寸法、許容差、注釈、その他 3D モデル上に直接指定された仕様などの情報の伝達に使用されません。

アドビ システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.com/jp

Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA
www.adobe.com

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Adobe PDFロゴおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。MicrosoftおよびWindowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.